

サントアースII竣工式

平成 26 年 12 月 17 日 (水) 10:00~

サントアースII 責任者 乾

この冬一番の寒さじゃないかと思えるくらいのか
なり強い風の中、サントアースIIの竣工式を迎える
ことが出来ました。本当に寒中、たくさんの方がご参
加下さり、嬉しい限りです。ふきのとうの運営を進め
る中で、重度化・高齢化に直面する場面が幾度かあり、
これからどうしていくのかと検討する中、メンバーに
は同じ環境で安心して生活してもらいたいという思
いで今回、従たる事業所として始めることとなりました。

ここでは、機械浴も導入し、入浴支援も行います。
また、運動を取り入れ、体力維持できるようにしたり、
個々に応じたプログラム（絵、織物、音楽など）を中
心にやっていきたいと思っています。

今回、奈良県奈良の木ブランド課の助成もいただき、
天井には大きな梁、腰板にも奈良の木を使い、開放的
でぬくもりある建物が出来ました。週 1 回、サントア
ースIIで朝市を開催するので、お近くにお寄りの際は、
お気軽に来て下さい。

お待ちしております！



心に残った行事

行事（イベント）担当 井上

ふきのとうでは、日中活動以外にも季節を重視した
イベントにも力を入れており、毎月何らかの行事が組
み込まれています。

特に 9~12 月は 1 年で最もイベントの多い時期で、
他のスタッフにも協力してもらいながら計画をして
います。

今回「一番心に残っている行事」として考えたこと

ろ、10月に行われた「ふれあい交流会」が思い浮か
びます。「ふれあい交流会」というのは、天理市の障
害者ふれあいセンターで毎年行われるイベントで、
“障害者と地域住民が一堂に会し、発表などを通して
交流やふれあいを深め、障害者や障害についての理解
の輪を広げていく事を目的”としています。

ふきのとうは販売（たません・クッキー等）とステー
ジ発表（歌とダンス）に毎年参加しています。なぜこ
のイベントをあげたのかというと、このイベントが
「みんなで一つのことに取り組めた」間が一番大きい
からです。6月の発表曲の選定から始まり、何カ月も
練習してきた成果が発表という形で花開いたのが、こ
のイベントだと言えます。

年々人数も増え、年齢層も幅広くなり、全員で何か
をすることは本当に難しくなっています。そのような
中で、このイベントを成功させることが出来たことに
対して、メンバー・スタッフには感謝の気持ちでいっ
ぱいです。

新しいスタッフ紹介



藤本悠之

12月より新しく入職しました藤本悠之です。
今までは精神科の病院で働いていましたが、まだまだ
未熟で修業中です。まだまだ分からないことが多く、
慣れるのに時間がかかりそうですが、日々、一つ一つ
勉強していきます。

ふきのとうの魅力はプログラムの多さと、様々な年齢
層のメンバーさんがおられ交流がみられる事だと思
っています。

よろしくお願いいたします。



西山真伸

ちょっと年をとっていますが、気持ちだけは若い
つもりです。わからないことがたくさんあり、迷惑
をかけることもあります。少しでも早く皆さんにな
じめるようにしたいと思っていますので、いろいろ教え
てください。おしゃべりが大好きなので、気軽に話し
かけて下さい。吉本新喜劇が大好きなおっちゃんです。

よろしくお願いいたします。



謹賀新年

2015年、明けましておめでとうございます。

旧年中は多大なるご支援とご協力賜り
厚くお礼申し上げます。い

本年も旧年に倍するご支援と、ご指導賜
りますよう心からお願ひ申し上げます。

理事長 松田 勝義

さて、皆さんは、2015年をどのような想
いで迎えられたのでし
ょうか、新年に賭ける夢
や希望に胸膨らませて
迎えた人も、漠然と「今



年は良い年」になることを願ひ新年を迎えた人、その
他にも、様々な想いと気持ちで新年を迎えられたと思
います。

いずれにせよ、「一年の計は元旦にあり」と言われ
てきましたように、元旦に誓った一年の計を大事に、
その達成を目標にした生き方を貫いて下さい。

話は変わりますが、私は、過去に結婚式の挨拶を頼
まれたことがあります。その時の挨拶の内容は、「人間らしく生きる」ことをテーマに、「人間と他の動物の
違いについて色々と話した後、特に大切なことは、
人間は夢を持って生きることが出来るが、他の動物に
は夢を持つということができないという決定的な違
いがあることです。

すなわち、夢を持って生きることが人間らしい
生き方になる、その夢の実現に向かって努力し頑張っ
ている姿が、一番、人間らしく生きている姿だと思
います。」というような内容の挨拶でした。

今なぜ、このような話をしたかと言いますと、人は
誰でも「人間らしく生きたい」と思っているはずで
す。それなのにそうはいかない出来事が起こり挫折を
経験することになります。ここで経験した挫折から何
を学び、何を教訓にするかによって、次の進むべき方
向が見えてきます。夢の実現に向かって努力したが、
失敗を繰り返す、もうどうしていいかわからない出口
のないトンネルに入ったようだとすると、もう一度冷
静に失敗から学び、教訓を導くことが、夢をあきらめ
ない生き方になると思うからであります。

「あきらめない」ことこそが、目的を達成する為の
前進力だと確信しています。

これからの時代は、障害者もその家族も高齢化して
いきます。障害者福祉サービスも、これからの時代を
見据えた内容と質的向上を目的として、意識的に取り
組んでいかななくてはなりません。

障害者が、その年代年代に必要なサービスを提供で
きる施設づくりに、本年も微力ながら努力してまい
ります。

今年は大阪に行きました！

毎年恒例となっている今
年の秋の旅行は、大阪のあ
べのハルカスへ行ってき
ました。



みんなでおいしいもの
食べ、ガラス張りの展望
台で大阪の街を見下ろし
ました。そこからはあの
大阪のシンボルともいえ
る通天閣がこんなに小さ
かったのか？と思えるほどで、メンバーの中には怖く
てガラスから離れて景色を見る人もいました。

あべのハルカスを出て続いては天王寺動物園へ！
たくさんの動物をみんな時間を忘れるほど楽しんで
きました。



こんなことをしています！

の

と

う

き

ふ



の

四

季

